

東京 2020 に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る
関係府省庁等連絡会議(第 6 回)

議事概要

1. 日時：令和元年 5 月 30 日（木） 9：30～10：30
2. 場所：中央合同庁舎第 4 号館 12 階 全省庁共用 1208 特別会議室
3. 出席者：
 - 鈴木 俊一 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣

【議長】

 - 平田 竹男 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長

【構成員】

 - 高橋 一郎 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官
 - 黒田 亮 内閣府大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）
 - 菅原 泰治 消防庁審議官
 - 宮川 学 外務省国際文化交流審議官
 - 横地 洋 文部科学省研究開発局環境エネルギー課長 ※代理出席
 - 齋藤 福栄 スポーツ庁スポーツ総括官 ※代理出席
 - 北波 孝 厚生労働省医政局総務課長 ※代理出席
 - 菱沼 義久 農林水産省大臣官房生産振興審議官
 - 島田 勘資 経済産業省大臣官房審議官（商務・サービス担当）
 - 田尻 直人 国土交通省大臣官房審議官（道路局担当）
 - 高科 淳 観光庁審議官 ※代理出席
 - 坪井 史憲 気象庁総務部長
 - 上田 康治 環境省大臣官房審議官（水・大気環境局、放射性物質汚染対策担当）
 - 梅田 珠実 環境省大臣官房環境保健部長
 - 小川 謙司 東京都環境局地球環境エネルギー部長 ※代理出席
 - 三浦 幹雄 東京都オリンピック・パラリンピック準備局運営調整担当部長
 - 中村 英正 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ゲームズ・デリバリーオフィサー

4. 議事要旨

- ・冒頭、鈴木東京オリンピック・パラリンピック担当大臣より挨拶。

【鈴木大臣】

昨年の夏は、全国各地で最高気温を更新する記録的な猛暑となり、熱中症による救急搬送が前年度の約1.8倍、概ね95,000人に上るなど、記録的な猛暑になったのは記憶に新しいところですが、本年も既に先週末より各地で猛暑日を記録しました。暑さが厳しい時期に開催される東京大会の暑さ対策は重要な課題です。

私自身、前回の大臣在任時この会議に出席をしましたが、東京大会に向けた暑さ対策について、遮熱性舗装や、日本の暑さに慣れていない外国人向けの熱中症情報の発信、外国語で対応可能な救護体制の整備など、ハード・ソフト両面での取組が着実に進んでいると実感しております。また、マラソンや競歩など一部競技の開始時間の見直しも行われました。

いよいよ東京大会の開会まであと421日です。大会前の最後の夏を迎えるにあたって、私からは、特に以下3つの事項をお願い致します。

1つ目は、今年の夏に開催されるテストイベントにおける対策の試行・検証です。これまでの取組を基に、会場内はもとより、ラストマイルでの取組などに抜けがないかを検証し、大会本番に向けて、暑さ対策の更なる強化を図る必要があります。

2つ目は、特に熱中症への配慮が必要な障害者の方々など、熱中症になるリスクが高い方々に対する対策を、きめ細かく行っていくことです。

3つ目は、全競技会場43か所の暑さ指数の計測結果や2週間先までの気温予測などの気象情報を活用しつつ、熱中症の予防・対処方法等の熱中症関連情報を国内外に、より効果的に発信することです。

関係府省庁、組織委員会、東京都等が一丸となって暑さ対策の一層の強化を図るべく、本日の会議で、しっかりと議論して頂くようお願いをして、私の挨拶とさせていただきます。

- ・議事1について、事務局より資料1に基づき、「東京2020に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る関係府省庁等連絡会議の開催について」の一部改正について報告。
- ・議事2について、各府省庁等より資料2に基づき、「関係府省庁等における取組状況」について報告。

【環境省水・大気環境局】

今年度より測定地点を追加し、全43競技会場周辺を網羅する暑さ指数(WBGT)の情報提供方法の検討及び、平成30年に改訂した「まちなかの暑さ対策ガイドライン」等を利用した、効果的な暑さ対策の推進について報告。

【環境省環境保健部】

今夏のテストイベントにおける「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」の活用及び、活用結果を踏まえた障害者対応の追記等、ガイドラインへの検証結果の反映について報告。また、リムジンバス車内での熱中症対策動画放映やうちわ型資料の配

布等による外国人への情報発信強化について報告。

【国土交通省】

マラソンコース内の直轄管理区間における遮熱性舗装の整備状況及び、センターコアエリア内の直轄管理区間における高木剪定（剪定サイクル調整）の実施状況について報告。

【農林水産省】

壁面緑化等の暑熱対策技術の実証研究効果についての情報提供及び、民間事業者の優良事例の紹介、「夏花による緑化マニュアル」等について報告。

【スポーツ庁】

新国立競技場における大屋根や風の大庇、気流創出ファン、ミスト冷却装置、空調付き休憩室の設置について報告。

【厚生労働省】

熱中症対策に係る多言語や障害者向けリーフレットの作成、関係団体と協力した大会運営における応急体制の整備、外国人受入を含めた医療体制の整備、事業者への支援を通じた労働者の熱中症予防等の推進について報告。

【消防庁】

7か国語に対応した救急車利用ガイドの作成及び消防庁ウェブサイトや「Safety Tips」への掲載、救急隊用「救急ボイストラ」の導入、多言語化や音声によらない119番通報等の推進について報告。

【外務省】

在外公館のホームページや同 SNS を通じた環境省作成リーフレットのリンク掲載による熱中症関連情報の発信及び各国への反応について報告。今後も関係省庁による関連情報を発信予定である旨発言。

【観光庁】

ウェブサイトや「Safety Tips」における熱中症情報及び、外国人受入可能な医療機関情報等の掲出による外国人への情報発信について報告。

【気象庁】

2週間先までの気温予報の提供（令和元年6月より）や詳細な気温分布予報の提供（令和2年3月より）、気象庁HPの多言語化（令和元年9月より）等について報告。

【内閣府】

今夏のテストイベントへ参画による豪雨・竜巻予測の提供及び大会本番の実施体制の検討、東京都が行う会場周辺等の安全確保のためのゲリラ豪雨や浸水予測情報等の提供について報告。

【経済産業省】

遮熱塗料・フィルムや高機能繊維素材等、暑さ対策に資する技術シーズの活用可能性検討について報告。

【東京都】

マラソン競技コースを含む都道への遮熱性舗装の整備や樹形の拡大・木陰の確保、テ

ストイイベントにおけるソフト・ハード両面での対策、外国人患者受入委体制整備に係る補助や多言語化対応等の医療機関における外国人受入体制の整備について報告。また、クールスポット創出支援事業や打ち水の機運醸成等について報告。

【組織委員会】

モバイルアプリの作成検討状況及び、テストイベントにおける屋外5種目に重点化した検証の検討等について報告。また、6月下旬でのアップデート版暑さ対策方針の発表について報告。

以下質疑応答あり。

【平田事務局長】

大会終了後の会場周辺での暑さ指数（WBGT）の活用方法について。

【環境省】

大会終了後も引き続き発信は継続するが、今回作成するサイトのオリパラ向けページをどうするかについては個別に検討していきたい。

・ 議事3について、事務局より資料3に基づき、「東京2020に向けたアスリート、観客等の暑さ対策に係る関係府省庁等の取組」について説明。了承。

・ 閉会にあたり、平田東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長より挨拶。

【平田議長】

本日はありがとうございます。暑さ対策の試行は夏にしかできないので、この時期に集中力を高めて取り組んで頂きたく、今回、会議を開催させて頂きました。

4年前に本会議を立ち上げた際には、訪日外国人は2,000万人ほどでしたが、2020年に向けては4,000万人を目指して政府として取り組んでいます。外国人に対しては、日本の暑さに関する情報発信を、観光庁や気象庁が中心となって積極的に取り組んで頂いております。今後も政府の総合力をもって大会本番に向けて対策の強化に取り組んでいければと思います。また、私も共生社会の仕事の関係で「心のバリアフリー」に取り組んでいます。障害者の方への声がけと同じように、具合の悪い外国人に対してもどンドン声をかけられるような環境づくりを、関係者が一丸になって進めて頂きたいと思います。

政府における暑さ対策のウェブサイトはたくさんありますが、関係府省庁におかれては、組織委員会のウェブサイトはどうリンクするかを含め、全体として統一感のある取組にしてほしいと思います。

暑さ対策に関しては、秋冬になってしまうと振り返りしかできません。来年の夏はもう本番なので、ぜひ今年の夏のしっかりと試行検証をお願いしたいと思います。来年度の予算要求においても、本番に向けた予算要求をしっかりと取りまとめてください。

暑さ対策はオリパラのためだけに行うものではありません。この取組が大会終了後もレガシーとして残るよう、暑さ対策の根本的な流れを作り上げることを目指して取組を進め

てほしいと思います。

皆の力を集めて、今夏全力で対策に取り組み、来年を迎えたいと思います。

・閉会